

サウジアラビアの有望プロジェクトへの 参入・協力に向けた諸外国の戦略に関する調査

2019年2月
日本貿易振興機構（ジェトロ）
海外調査部 中東アフリカ課
リヤド事務所
日・サウジ・ビジョンオフィス・リヤド

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロとフロスト&サリバン社では、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

禁無断転載

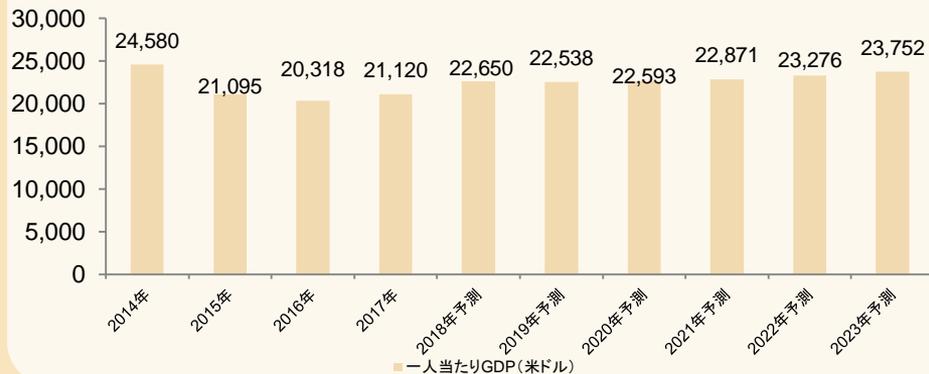
目次

サウジアラビアのマクロ経済指標	01
サウジアラビアの「ビジョン2030」	04
インフラプロジェクト分析	05
貿易収支	07
国別ベストプラクティス分析	09
サウジアラビアのインフラプロジェクト	20
日本企業への機会	23
結論	25

GDPとGDP成長率 2012～2023 サウジアラビア



1人当たりGDP 2014～2023 サウジアラビア

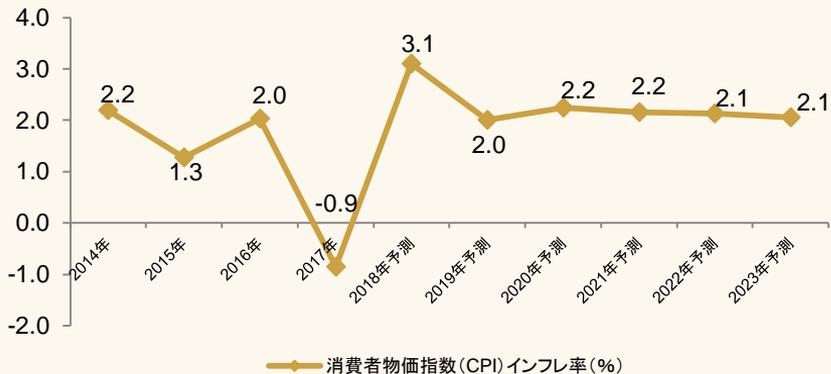


- 昨年の原油価格の高騰と新しい経済改革「ビジョン2030」に伴い、今年中には同国の景気は持ち直し、中期的に経済成長が継続すると予想されている。
- 財政の発展と安定性の改善は、サウジアラビア政府の主要な政策において優先事項である。
- 構造改革の取り組みが、今後の非石油分野の成長を支えると期待されている。

- 民間部門への投資を増やすために、政府が石油部門への依存を減らし、政府サービスを民営化することが推奨される。
- その結果、経済の多様化、政府支出の削減、インフラストラクチャーの発展がもたらされる。
- サウジアラビアの経済状況が改善するにつれて、1人当たりのGDPも改善し、消費支出を更に押し上げると予測される。

政府が非石油収入増のため価格引き上げを導入、インフレが急伸

インフレ率 (%) 2014~2023 サウジアラビア



消費者物価指数 2014~2023 サウジアラビア



- ほとんどの副指数が下落し、2017年のCPIのインフレ率は0.9%に下落した。
- 付加価値税 (VAT) の導入とガソリンと電気料金の高騰により、CPIのインフレ率は、2018年は3.1%に上昇する見込みである。
- しかし、VATの影響が落ち着くと、中期的なインフレ率は安定するだろう。

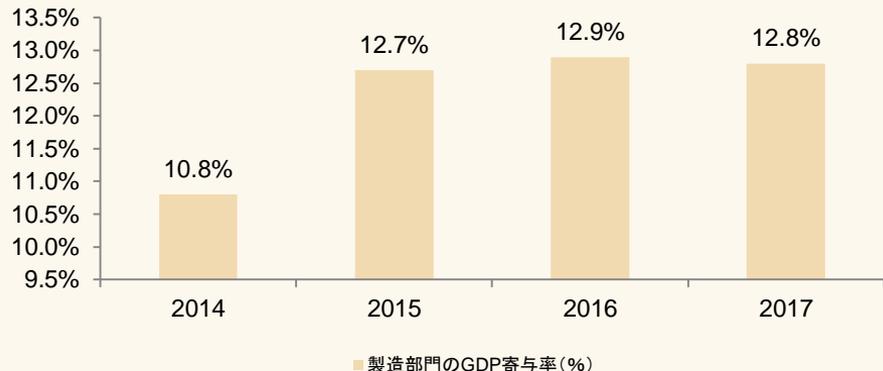
- 食品のインフレは、同国の消費者物価指数バスケットの約21.7%を占める。また、食品に関する新たなVATの導入により、2018年は消費者物価指数 (CPI) が上昇した。
- 食品および飲料の価格は年率で0.6%上昇した。
- CPIでは、たばこ価格はわずか0.5%の比率であるが、たばこへ物品税が新たに導入されたことにより、箱当たりの価格が2倍となり、2017年には100%の例外的な価格上昇を記録した。

サウジアラビアのマクロ経済指標

消費者マインドは上向きの軌道にあり、支出の伸びを促している

GDPに対する製造業の貢献度（GDP比）

2014～2017 サウジアラビア



消費者信頼感指数（Consumer Confidence Index: CCI）

2014～2018 第2四半期 サウジアラビア



- 政府は、石油収入への依存を減らし、経済の多様化を図っており、製造業および産業部門はサウジアラビアにおいて重要な役割を果たしている。
- また、「ビジョン2030」によれば、中小企業（SMEs）の経済への寄与度は、2030年までに現在の20%から35%に引き上げられると推定されている。
- この成長の主な要因は、政府の支援や近代的なインフラの整備、企業に配慮ある規制の導入である。

- 現在、サウジアラビアのCCI指数は107であり、中東諸国の中で2番目に高い。サウジアラビアは、豊かな消費者市場を有し、自信の高さを表している。
- 石油価格の上昇は同国の収入を増加させるが、同時に消費を押し上げていた政府の財政拡大の取り組みは減少する。
- 一方、非石油経済への投資を促す動きは、今後、消費者の期待を高めていくと予想される。

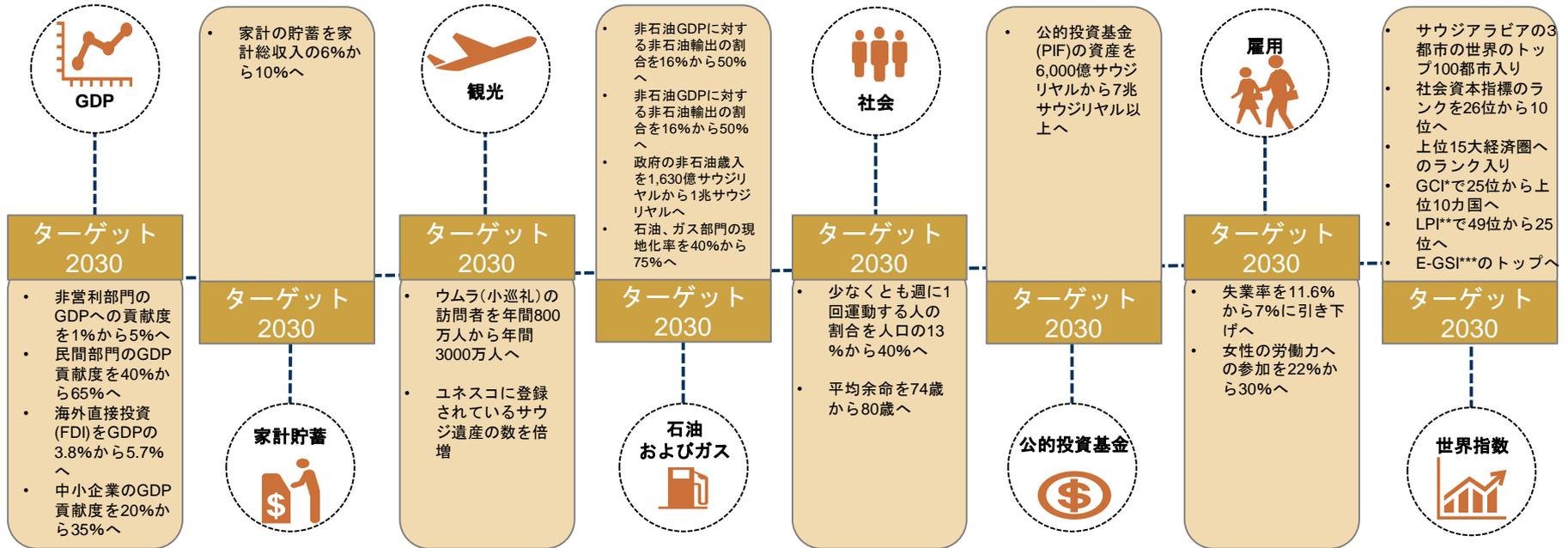
出典：消費者信頼感指数ニールセンレポート、世界銀行、Zawya

サウジアラビアの「ビジョン2030」

民間部門の参加拡大とGDPへの貢献度の増加

主な目標：

- 「サウジ・ビジョン2030」は、石油輸出への依存から脱却するために考案された経済社会改革計画である。
- このビジョンの主な目標は、石油以外の産業と分野を発展させ、石油に依存しない経済を確立し、民間部門の参加を通じて公共支出を削減することである。
- 国内外の投資家がサウジアラビア経済への信頼度を高められるような、魅力的な投資環境を創造する。



* GCI-グローバル競争力指数 ** LPI - 物流パフォーマンス指数 *** E-GSI - 電子政府調査指数

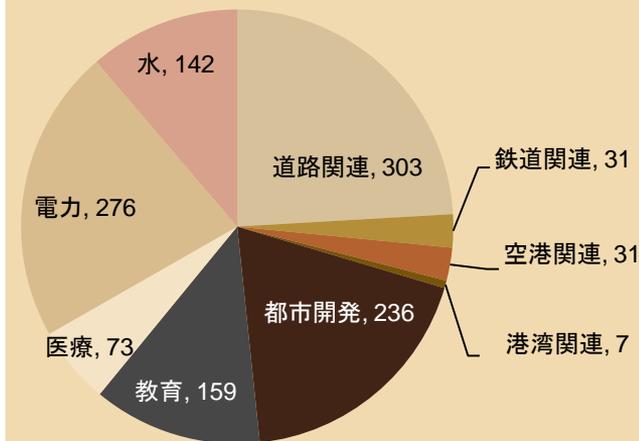
サウジアラビアは2016～2017年、インフラ投資において最も魅力がある国ランキングで世界第15位に

- 英国のコンサル会社タイムトリック(Timetric)のインフラ・インテリジェンスセンター(IIC)によると、インフラ・建設市場の規模は、2017年には1,240億サウジリヤル(331億米ドル)と見積もられ、2021年までに1,408億サウジリヤル(375億米ドル)に達すると予測されている(名目値)。
- 2017年時点で、IICは投資総額4,467億米ドルに上る111件の戦略的インフラ建設プロジェクトを確認している。
- プロジェクトの約68%は公共部門から直接資金を調達し、25.6%は公的および民間の資金調達メカニズムを組み合わせて調達、残りの6.7%は民間部門から調達している。
- インフラ・建設市場の規模は2017年の331億米ドルから拡大し、2018年には401億米ドルになると予測されている。
- サウジアラビア政府は2018年度の予算において輸送およびインフラに予算の6%を割り当てており、継続的に注力している。

2017年の画期的なプロジェクトの立ち上げやインフラ分野での主な発表には以下のものが含まれる：

1. エネルギー、水、バイオテクノロジー、食品、娯楽産業に重点を置く**5,000億米ドルのNEOM都市**:この巨大プロジェクトのフェーズ1は**2025年までに完了予定**。
2. 複数の映画館設立。2030年までに**2,000スクリーンを超える300館以上の映画館設立の提案**。
3. 民間部門に**192億米ドルの投入、80億米ドル規模の公的投資基金(PIF)の紅海プロジェクト**。

サウジアラビアにおける2015年以降のインフラプロジェクト総数



インフラプロジェクト分析

サウジアラビアにおける年度別・部門別インフラプロジェクト総数

部門別・年度別 プロジェクトの状況	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	合計 (2015～ 2020)
道路	104	66	20	28	79	5	1	303
鉄道	2	3	0	1	10	15	0	31
空港	7	5	2	7	4	6	0	31
港湾	1	3	1	2	0	0	0	7
都市開発	46	74	31	21	38	25	1	236
教育	66	44	16	9	24	0	0	159
医療	15	14	10	14	15	5	0	73
電力	75	88	39	21	45	7	1	276
水	27	31	9	23	47	5	0	142

出典：MEEDプロジェクト

サウジアラビアと選択国の貿易統計

ソーティング ナンバー	国	サウジアラビアから の輸入	サウジアラビアへ の輸出	サウジアラビアへの主な輸入品目	サウジアラビアからの主な輸出品目
1	米国	196億ドル	163億ドル	航空機、宇宙船および部品 鉄道、路面電車以外の車両 原子炉、ボイラー、機械 武器と弾薬	鉱物燃料、油、石油精製品 商品 有機化学製品 肥料
2	フランス	47億ドル	51億ドル	航空機、宇宙船および部品 電気、電子機器 原子炉、ボイラー、機械 医薬品	鉱物燃料、油、石油精製品 プラスチックおよび関連品目 有機化学製品 アルミニウムおよび関連品目
3	ドイツ	9億1,930万ドル	75億ドル	原子炉、ボイラー、機械 鉄道、路面電車以外の車両 医薬品 電気、電子機器	鉱物燃料、油、石油精製品 プラスチックおよび関連品目 有機化学製品 商品
4	英国	18億ドル	54億ドル	原子炉、ボイラー、機械 航空機、宇宙船および部品 商品 電気、電子機器	鉱物燃料、油、石油精製品 プラスチックおよび関連品目 真珠、宝石、金属、コイン 原子炉、ボイラー、機械
5	スペイン	42億ドル	26億ドル	鉄道、路面電車、鉄道車両 原子炉、ボイラー、機械 セラミック製品 電気、電子機器	鉱物燃料、油、石油精製品 有機化学製品 プラスチックおよび関連品目 アルミニウムおよび関連品目

出典：各国の情報源、COMTRADE

サウジアラビアと選択国の貿易統計

ソーティング ナンバー	国	サウジアラビアから の輸入	サウジアラビアへ の輸出	サウジアラビアへの主な輸入品目	サウジアラビアからの主な輸出品目
6	中国	318億ドル	184億ドル	電気、電子機器 原子炉、ボイラー、機械 衣服、アクセサリーの品目（ニットを除く）	鉱物燃料、油、石油精製品 有機化学製品 プラスチックおよび関連品目 塩、硫黄、土、石、石膏、石灰およびセメント
7	日本	278億ドル	37億ドル	家具、照明、標識、プレハブ建物 鉄道、路面電車以外の車両 原子炉、ボイラー、機械 鉄鋼製品 鉄鋼	鉱物燃料、油、石油精製品 有機化学製品 アルミニウムおよび関連品目 銅および関連品目
8	インド	211億ドル	52億ドル	穀物 有機化学製品 鉱物燃料、油、石油精製品 鉄鋼製品	鉱物燃料、油、石油精製品 有機化学製品 プラスチックおよび関連品目 肥料
9	韓国	196億ドル	51億ドル	鉄道、路面電車以外の車両 電気、電子機器 原子炉、ボイラー、機械 船舶、ボートその他の浮遊構造物	鉱物燃料、油、石油精製品 有機化学製品 無機化学物質、貴金属化合物、アイソトープ 銅および関連品目
10	アラブ首長国連邦	45億ドル	48億ドル	真珠、宝石、金属、コイン 書籍、新聞 鉄道、路面電車以外の車両 電気、電子機器	真珠、宝石、金属、コイン プラスチックおよび関連品目 鉱物燃料、油、石油精製品 乳製品、卵、蜂蜜、食用動物製品

国別ベストプラクティス分析

サウジアラビアインフラ・プロジェクト部門へ自国企業の参入を促進する 各国のベストプラクティスのまとめ

サウジアラビアのインフラプロジェクトに参加した企業を有するほとんどの国は、歴史的に高いレベルの貿易・ビジネス関係を維持してきた国々である。多くの国が原油を求めてサウジアラビアに頼ってきたが、重要な機械、技術、労働力をサウジアラビアに輸出してきた国は、サウジアラビアのインフラストラクチャー部門において強い影響力がある国である。

インフラプロジェクト部門は、長期的に運転資金を必要とするので、極めて大きな資本を要する部門である。低金利ローンによる財政支援、税制優遇措置、その他の資金調達オプションを、自国企業に提供した国々が、サウジアラビアのインフラ市場において自国企業の勝利を得ることができた。その典型的な例は韓国企業である。KEXIMの資金援助によって、韓国企業はサウジアラビアの大規模なインフラプロジェクトに参加し、実施することができた。



ほとんどの国は、サウジアラビア国内にビジネスおよび貿易促進組織を設立し、サウジアラビア現地の民間部門および公共部門と連絡を取ると共に、現地のビジネス環境の理解を促進している。これらの連絡事務所は、双方向の対話促進、自国企業と地元パートナーとの結びつき、地域のビジネス規制の誘導を助け、企業の優遇措置を得るためにサウジアラビア政府との協力を強めている。

政府の支援の下にある、いくつかの国の金融機関は、大規模なインフラプロジェクトを実施するために、サウジアラビアの政府機関および民間部門に多額の所要資金援助を提供することができた。資金援助は、財政支援の見返りにプロジェクトの現地調達拡大を求める条件つきとなっている。これにより、自国企業との契約が確約されプロジェクトを実行することができる。例えば、KEXIMはサウジ側に資金援助を行うため、サウジアラビアエネルギーおよびその他の公共機関に対し、韓国企業と韓国人労働者にインフラプロジェクトの実施を委託することを条件に支援した。

国別ベストプラクティス分析 アメリカ合衆国

自国企業のサウジアラビア参入を促進するためのベストプラクティス

- 貿易と投資の枠組み合意
- 米-サウジアラビア ビジネスカウンシルを設立
- EXIM銀行による資金援助
- 強力な二国間関係の確立
- 米国とサウジアラビアの企業間覚書

成功事例ケーススタディ

ベクテルは、定評ある世界規模のエンジニアリング、建設、プロジェクト管理会社の1社であり、最近、サウジアラビアにおける事業展開75周年を迎えた。同社はサウジアラビアでいくつかの画期的なプロジェクトを実施しており、また今もサウジアラビアにおけるプロジェクトに携わっている。いくつかの主要プロジェクトは次のとおり：

1976～ 2021年	ジュベイル工業都市 - 200億ドル	EPCおよびプログラム管理都市の工業および住宅エリアの拡大。さらに、18,000人の学生を収容する未開発地域の大学、道路、橋およびその他の施設も含む。
2010～ 2013年	ラスアルヘイル・アルミニウム製錬所 - 40億ドル	EPCおよびプロジェクト管理。サウジアラビア初の、未開発地域におけるアルミニウム製錬所
2013～ 2022年	ワード・アル・シャマル都市開発 - 75億ドル	プログラム管理：トウライフ近くの新しい複合施設の、設計・調達・建設（EPC）の監督マスタープランの作成
2014～ 2018年	リヤド・メトロ - 100億ドル	設計および建設（BACSコンソーシアム）

まとめ

サウジアラビアと米国はあらゆる分野で相互協力し、国際問題に関する共通のビジョンを有している。両国が世界で政治的・経済的強さを証明していることから、両国の関係は、互いの利益に貢献すること、そして協調した対応が求められる国際的課題に立ち向かうことによって成り立っている。

出典：フロスト&サリバン

国別ベストプラクティス分析 ヨーロッパ- フランス

自国企業のサウジアラビア参入を促進するためのベストプラクティス

- サウジーフランス・ビジネスカウンシルの設立
- コファス(COFACE) フランス投資銀行(Bpifrance)による信用支援
- ジェッタのサウジ・フランスビジネスグループ(CAFSDA)
- 防衛部門における協力

成功事例ケーススタディ

1951年、アルストム(Alstom)は初めてサウジアラビアにおけるガスタービン設置に関わった。それ以降、同社はいくつかの大型プロジェクトに携わり、成長を続けている。近年は、同社は輸送インフラに重点を置いており、持続可能なモビリティ・ソリューションの優先パートナーとなっている。いくつかの主要プロジェクトは次のとおり：

2008～ 2012年	シュアイバ3号蒸気発電所 - 19億ドル	アルストムはボイラー、STF40蒸気タービン、Gigatiop 2(水素冷却タービン発電機)、3基の海水排煙脱硫システムを含む、発電所全体の設計、供給、設置および試運転を担当。
2013～ 2019年	リヤド・メトロ - 4・5・6号線 (パッケージ3) - 78.2億ドル	アルストムは無人運転のメトロ電車、URBALIS(同社信号システム)およびAppitrack(同社の高速軌道敷設技術)を供給し契約シェアは16億ドルに上る。
2018～ 2030年	リヤド・メトロ - 3・4・5・6号線 - 8億4,800万ドル	アルストムは準備期間を含む12年間、リヤド・メトロ3・4・5・6号線の運行および保守サービスを提供する。

まとめ

フランスとサウジアラビア間の政治家の公式訪問数が急増。貿易および政治的な強固な結びつきを確実に維持している。サウジーフランス・ビジネスカウンシルはフランスの専門家の助力を得て、サウジアラビアの「ビジョン2030」を支援する計画の詳細なリストを策定している。サウジ-フランス・ビジネスカウンシルおよびCAFSDAに加えて、フランス政府はフランス企業の海外進出を支援する「ビジネスフランス(Business France)」を設立。フランス企業のサウダイゼーション率(サウジアラビア国民の雇用率)も36%と高く、安定して維持している。

出典：フロスト&サリバン

国別ベストプラクティス分析

ヨーロッパ-ドイツ

自国企業のサウジアラビア参入を促進するためのベストプラクティス

- ドイツ・サウジアラビア政府間の経済関係連絡事務所（GESALO）設立
- ドイツ企業を代表する、「ドイツ・ビジョン2030実現委員会」の発足
- エネルギー分野における長期的な結びつき
- Kfw IPEX(ドイツ復興金融金庫 IPEX銀行)の資金支援

成功事例ケーススタディ

シーメンス(Siemens)は1930年代にサウジアラビアとの最初の取引を行い、今日、サウジアラビアで発電される電力の約1/3は、シーメンスの技術を利用したものである。いくつかの主要プロジェクトは次のとおり：

2005～ 2007年	ダンマン・リヤド鉄道 - 6,800万ドル	シーメンスの役割は、信号装置、安全装置および監視カメラ（CCTV）システムの供給、装備することであった。また、信号装置のメンテナンスも担当する。
2013～ 2017年	ジザーン・コンバインドサイクル発電所 - 9億6,700万ドル	シーメンスは、合成ガスおよびディーゼル燃料用に設計された10基のガスタービンの供給を担当。また、蒸気タービン5基、発電機15基、熱回収蒸気発生器10基を供給する。
2014～ 2018年	ラービグ2号独立発電所 - 12億ドル	シーメンスは、ガスタービン発電機ユニットと蒸気タービン発電機ユニットの供給のために選ばれた。

まとめ

ドイツは、両国政府関係者の多くの訪問により、政治および貿易の結びつきを長期間維持してきている。各分野のリーダー層が、訪問ごとに多数の覚書に署名することも主張してきた。ドイツ企業のサウジアラビア市場へのアクセスを促進するためのGESALOの創設は、ドイツ企業に多くの機会をもたらした。ドイツ政府は、ドイツ企業が海外に投資するための特別なインセンティブを与えていない。「ドイツ・ビジョン2030実行委員会」は、ドイツ企業をサウジアラビアの「ビジョン2030」の中心的存在に導いている。これにより、ドイツ企業は安定したビジネスチャンスを得ている。 出典：フロスト&サリバ

国別ベストプラクティス分析 ヨーロッパ-スペイン

自国企業のサウジアラビア参入を促進するためのベストプラクティス

- サウジ-スペインビジネスカウンシルの設立
- サウジ・スペイン・インフラファンド(SSIF)による資金援助
- 輸出信用機関(CESCE)によるスペイン企業の外国市場における取引リスクをカバー
- サウジアラビアとスペインの企業間の覚書

成功事例ケーススタディ

2013～ 2019年	リヤド・メトロ - 4・5・6号線 (パッケージ3) - 78.2億ドル	合計64.6 kmの3本の路線の設計と建設。これには、25駅、高架橋29.8 km、道路と平面交差の8.2 kmが含まれ、直径10 mのトンネルに26.6 kmの線路を建設するために3台のトンネル掘削マシンが使用される。
2016～ 2019年	リヤド・メトロ - 電気機械設置契約 - 3億4,100万ドル	リヤド・メトロの路線(グリーンラインとパープルライン)の照明、換気、消火、空調などの電気機械設備の設置が含まれる。
2018～ 2019年	リヤド・メトロ - 4号線延長 - 契約金額 - 非開示	1.5キロメートルの延長部分を建設し、2つの新しい駅をリヤド・メトロ・プロジェクトの4号線に追加する。

まとめ

スペインの企業は「サウジ・ビジョン2030」の主要部門である再生可能エネルギーやインフラなどの分野で実績を上げ、地位を確立している。両国の貿易関係を改善する努力が、今後より多くの機会をもたらすことと期待されている。

出典：フロスト&サリバン

国別ベストプラクティス分析 ヨーロッパ-英国

自国企業のサウジアラビア参入を促進するためのベストプラクティス

- 英国-サウジ戦略パートナーシップカウンシルの設立
- 金融部門、エネルギー部門への取り組みを通じた英国の「サウジ・ビジョン2030」の策定
- 安全保障および防衛分野における戦略的協力
- 輸出信用機関英国輸出ファイナンス(UK Export Finance : UKEF) / 英国輸出信用保証庁(Export Credits Guarantee Department : ECGD) による財政支援

成功事例ケーススタディ

ペトロファク(Petrofac)は、注目されているいくつかの重要なプロジェクトを受注しており、現在サウジアラビアにおけるプロジェクト・ポートフォリオを構築中である。
主要プロジェクトは次のとおり：

2012～2018年	ジザーン製油所およびターミナルプロジェクト - 14億ドル	ペトロファクは2つの設計、調達および建設 (EPC) パッケージを獲得。この契約は、製油所の南北の石油貯蔵施設の建設を含む。
2015～2019年	ファドヒリ EPC - 17億ドル	ペトロファクは、ファドヒリガスプログラムの一環としての硫黄回収プラントの設計、調達および建設 (EPC) を行うサウジアラムコとの契約を獲得。
2012～2018年	ペトロ・ラービグ・フェーズ2 - 5億ドル	ペトロファクは、製油所での石油化学拡張プロジェクトフェーズ2の2つの設計、調達および建設 (EPC) 契約を獲得。

まとめ

英国は、サウジアラビアの「ビジョン2030」が企業に提供すべき機会を特定し、調査した。英国とサウジアラビアは、英国-サウジ合同ビジネスカウンシルの他に、英国-サウジの戦略的パートナーシップカウンシルの設立を通じて、より強いビジネスパートナーシップを確立している。今年初めにムハンマド・ビン・サルマン皇太子が英国を公式訪問した際に、両王国間で多くの覚書が締結された。英国は、「サウジアラビア・ビジョン2030」でカバーされている多くの分野における専門知識を強調し、それに伴う具体的支援計画を策定した。

出典：フロスト&サリバン

国別ベストプラクティス分析 アジア－中国

自国企業のサウジアラビア参入を促進するためのベストプラクティス

- 中国企業の海外投資促進のための進出政策「走出去戦略」
- EXIM銀行(中国輸出入銀行)による財政支援
- 外国税額控除による優遇

成功事例ケーススタディ

中国港湾工程有限責任公司：1. **マードン港湾インフラプロジェクト**（設計と建設）：このプロジェクトは、アラブ首長国連邦のアブダビから約650km、クウェートのブビヤン(Boubyan) 島から約250 km離れた、クウェートとバーレーンの間のアラビア湾内にあるサウジアラビア東海岸のラスアルズールに位置している。主な取り組みには、進入路、旋回区域、港湾流域、冷却水の入口と出口ならびに関連誘導施設での浚渫作業、バルク品の7万トン、食料品の7万トン、液体製品の5万トン、作業場の7,000トンの4基の埠頭と接続する臨時の橋梁、土地の埋立、岸壁の保護、防波堤や防潮壁；陸上土木工事の支援が含まれる。2. **沖合進入路照明施設、新ドーハ国際空港**：このプロジェクトは、3つのターミナル橋と3つの仮設鉄橋を含む新ドーハ国際空港で実施。3. **ジザーン経済都市港**：9,100万USDで同社が受注した、現在建設中のプロジェクト。サウジアラビア南西に位置するジザーン経済都市の商業港建設プロジェクトであり、防波堤や3つの埠頭の建設も含む。

まとめ

- 2017年、中国とサウジアラビアは、エネルギー、投資、金融、文化、航空宇宙などの分野で、700億ドル相当の14件の合意書および覚書を締結した。
- 中国とサウジアラビアは、電気通信、航空宇宙、文化、教育、保健、科学技術、観光、メディア、セキュリティなどの分野で二国間関係をスタートさせ、金融と投資の協力のための基盤となる枠組みを模索している。
- サウジアラビアと中国との関係は、エネルギーと地政学の面でも、ますます国際的に重要な意味を持つようになってきている。
- 中国政府は、支援政策、サウジアラビアとの優遇貿易協定、優遇税制を通じて、サウジアラビアプロジェクトへの自国企業の投資を促進する一方、EXIM銀行などの専門金融機関は、クレジットやローンとして中国企業がサウジアラビアでの事業運営に必要とする財政支援を行っている。

出典：フロスト&サリバン

国別ベストプラクティス分析 アジア－韓国

自国企業のサウジアラビア参入を促進するためのベストプラクティス

- 韓国企業およびサウジアラビア機関/組織のインフラプロジェクトへの資金援助
- サウジアラビア政府と良好なビジネス環境を創出するための参画型の取り組み
- 海外投資している韓国企業に対する財政的優遇制度
- 韓国企業による外国投資を促進

成功事例ケーススタディ

現代建設は、1970年代からサウジアラビアに展開する主要な韓国企業である。同社は、熟練した韓国人労働力の中東への輸入に大きな役割を果たし、サウジアラビアのジュベイル港湾(Jubail Industrial Harbor)プロジェクトの建設に携わった。いくつかの主要プロジェクトは次のとおり：

1976～79年	ジュベイル港湾プロジェクト (9億6,000万ドル)	ジュベイル地域の工業施設のための新しい港を建設。 クライアント：サウジアラビア港湾局
2009～2012年	カラン(Karan)ガス施設プロジェクト (14億ドル)	国内開発のためのガス生成プラントを建設。 クライアント：サウジアラムコ
2012～2014年	マーデンアルミナ精錬所プロジェクト (16.5億ドル)	MBAC (Ma'aden&Alcoa合弁会社) のためのアルミナ精錬所を建設。
2012～2015年	アル・サナビル(Al Sanabil) 380 KVプロジェクト (1億1,645万ドル)	新たに1つの変電所を設置し、EPC方式で1つの旧発電所・変電所を改装。

まとめ

韓国には世界有数のインフラ企業があり、これらの企業は、サウジアラビアで、いくつかの最大のインフラプロジェクトを成功させた。韓国はサウジアラビア政府と非常に親密な関係を有しており、日本と同様に「ビジョン2030」プログラムの主な支持者として参画している。韓国輸出入銀行(KEXIM)は、韓国の物品使用を条件としたサウジ側への独自の融資方法の売り込みをしている。

出典：フロスト&サリバン

国別ベストプラクティス分析 アジア-日本

自国企業のサウジアラビア参入を促進するためのベストプラクティス

- 国際協力銀行（JBIC）の財政支援による促進
- ジェトロ（JETRO）、中東協力センター（JCCME）によるビジネス促進
- 中東における主要投資先としてサウジアラビアを位置づけ
- パートナーシップの育成

成功事例ケーススタディ

JGCガルフは日揮株式会社（JGC）の子会社であり、長年にわたってサウジアラビアで数々のプロジェクトを実施している。同社はサウジアラビアのエンジニアリングおよび非エンジニアリングの多数のプロフェッショナルを擁しており、同社のサウジアラビアでの成長に貢献している。

2001～ 2003年	ガス処理プラント（ハラド） - プロジェクト金額は非公開	日揮は、サウジアラビア西部地域での大規模な、グラスルーツ（更地から造成して）のガス処理プラント建設を含むハラド・プロジェクトのEPC契約を獲得。
2012～ 2015年	ペトロ・ラービグ・エチレン施設の拡張 - 50億ドル	日揮は、エチレン生産拡大のため、ターンキーベース一括払いで、設計、調達および建設サービスを提供。
2015～ 2018年	トゥライフのシェールガス契約（システムA） - 2億ドル	日揮がトゥライフ・ガス田用のシェールガス施設、坑口およびパイプラインを建設

まとめ

日本自身の経済的安定は、サウジアラビアが数十年にわたり安定した地域秩序を築いてきた中東の経済的安定と相互依存の関係にあり、日本は引き続き「ビジョン2030」において重要な役割を果たすであろう。ジェトロ（JETRO）、中東協力センター（JCCME）等のビジネス促進機関の積極的な参画と、国際協力銀行（JBIC）からの融資支援が、日本の「ビジョン2030」計画において、サウジアラビアの開発への参加を増やす姿勢を維持している。

出典：フロスト&サリバン

国別ベストプラクティス分析 アジア-インド

自国企業のサウジアラビア参入を促進するためのベストプラクティス

- インド企業による海外投資のための堅固な政策枠組み
- 強力な二国間関係の確立
- インド企業の国際化を可能にする政策枠組み
- 特恵的な財政インセンティブ

成功事例ケーススタディ

ラーセン&トウブロ(Larsen & Toubro: L&T) は、インドに本社を置き、30カ国以上でグローバルに展開する、技術、設計、建設、製造、金融サービスの一大大複合企業である。サウジアラビアL&Tはリヤド・メトロを含むいくつかのメガプロジェクトを実施しており、本プロジェクトはL&Tコンソーシアムにおける最長かつ進捗は最速である。サウジアラビア電力会社(SEC)とサウジアラムコの各種変電所や送電プロジェクト、さらに、ヤンブーのファラビ石油化学(Farabi Petrochemicals)のノルマンパラフィンと複合体誘導物の製造、ハズバ沖合ガス田、ミドヤンガス処理施設の開発などがある。

同国でL&Tが実施した他の重要なプロジェクトには、保健省の病院(100床と200床)の建設、教育省の学校建設、Qassimセメント工場の拡張、ChemanolのMethanol & Co工場、サウジアラムコのガス処理施設、さらにサダラ・ケミカル・カンパニーのポリエチレンプラント建設が含まれる。このようにL&Tは過去20年間に、サウジアラビアで数多くの電力およびインフラプロジェクトをまとめてきた。

まとめ

インドはサウジアラビアと歴史的に強固な二国間貿易関係を維持している。インド政府は、政策改革や金融規制の緩和を通じて、インド企業による海外進出と投資を積極的に奨励してきたが、サウジアラビアにおいて、特にそのインフラ分野への参入のための与信がインド企業に与えられなければならない。サウジアラビアのインフラプロジェクトへ積極的に参入を果たしたインド企業は、L&Tとシャプルジ・パロンジ(Shapoorji Pallonji)である。L&Tは最も成功しており、その成功は、世界中のインフラプロジェクトを完工している同社の強みであることと、政府の支援を超える同社固有の事業企画力によるものであろう。

出典：フロスト&サリバ

国別ベストプラクティス分析 アラブ首長国連邦 (UAE)

自国企業のサウジアラビア参入を促進するためのベストプラクティス

- 中小企業への投資のための共同投資ファンドの設立とサウジアラビアとの税制上の協力
- 経済活動の促進を目的とする事務所の設置
- 再生可能エネルギーのSaudi Emirati 基金などのセクター別投資ファンドの創設
- 経済活動および投資機会の交換促進のポータル設立

成功事例ケーススタディ

国立石油建設会社 (National Petroleum Construction Company: NPCC) - NPCCは、沖合および沿岸の石油・ガス部門にEPCソリューションを提供する世界的な設計、調達および建設の会社である。いくつかの主要プロジェクトは次のとおり：

2007～ 2009年	接続プラットフォームとスクレーパーデッキの製造と設置 - プロジェクト金額非公開	この仕事には、ズルフおよびマルジャン油田において、2つの橋、パイプスプールおよびその他の関連作業を伴う2基の接続プラットフォーム、および3基のスクレーパーデッキの製造、輸送およびオフショア設置が含まれる。
2017～ 2019年	アル・サファニヤ油田 - 3億2,600万ドル	NPCCは、サウジ・アラムコのアル・サファニヤ油田のオフショア・プラットフォームとパイプライン2本の設計、調達および建設 (EPC) 契約を獲得した。
2017～ 2019年	ベッリとマルジャン油田 - 2億2,500万ドル	NPCCは、長期契約で17の海洋ジャケット構造物のEPCおよび設置契約を獲得した。

まとめ

アラブ首長国連邦およびサウジアラビアは、言語、宗教、遺産および国境を共有し、歴史的に強い絆で結ばれている。両国間のビジネス関係を強化するために、サウジ・UAE 調整協議会が設立された。協議会が策定した5年計画は、3つの柱の下でイニシアチブの実施による目標を明確にしている。サウジアラビアはUAEをこの地域のパイオニアとみなし、アラブ首長国連邦の成果から利益を得る方法を模索している。

出典：フロスト&サリバン

サウジアラビアのインフラプロジェクト 事前資格審査基準



公共部門プロジェクトの事前資格

事前資格審査プロセスは競争入札で行われる。政府入札調達法（GTPL）とその実施規則（GTPR）によって管理される。政府プロジェクトの請負業者のためのGTPRの最も一般的な定めは次のとおり:

1. サウジアラビア総合投資院（SAGIA）からのライセンスと、サウジアラビアにおける商業登記（外国請負業者のみ）
2. 社会保険への登録
3. ザカート税（Zakat）証明書とサウダイゼーション（Saudization）証明書の所持
4. 労働省への登録と商工会議所の会員証明書
5. 地方自治体省（Municipal and Rural Affairs）からの請負業者分類証の所持



民間部門プロジェクトの事前資格審査

- 民間部門のプロジェクトには特別な法律や規定はなく、提案依頼書（RFP）を発行している民間企業による。
- 基準は、その会社の知的素養や過去のプロジェクト経験によって異なるものとなる。
- 一般的に見られる基準には、具体的な財務保証、ISOまたはそれに準ずるコンプライアンス、過去のプロジェクト実績、健康および安全記録、請負業者および下請け業者からの照会情報などが含まれる。

推奨される、日本企業のサウジアラビアインフラプロジェクトへの主な参入方法

参入方法

債務を海外の親会社に移転する必要がある支店運営とは異なり、合同会社（LLC）であればいかなる国内債務もサウジアラビア国内で処理することができるので、**LLCを設立して直接入札**での参入方法が好ましい。

サウジアラビアのインフラプロジェクトにおける先行経験が限られている、またはほとんどない企業は、**地元の請負業者と合弁事業体**を設立することで利益を得られることが認められている。参入分野が異なる際も、有力な現地企業との合弁事業（JV）設立が推奨される。

大規模で複雑なプロジェクトの実施と管理には、様々な分野の専門知識と技術の双方を必要とする。したがって、幅広い専門知識を持つ企業が集まり**コンソーシアムを形成**し、順番にプロジェクトに入札することが必須となる。

民営化計画の推進により、サウジアラビアの大規模インフラプロジェクトの大部分は将来、**官民連携（PPP）**モデルで実施されると予想される。

最低5億サウジリヤルのプロジェクトを実施、最小5,000万サウジリヤルの総資産価値を有する、自国で一流企業と認識される従業員2000名以下の外国の請負業者は、ライセンスは5日以内に発行される**早期認可プロセス**の適用対象である。

サウジアラビアにおけるインフラプロジェクト契約獲得に関する所見

契約獲得

初めての入札を獲得することは最も困難だが、最初のプロジェクトがうまくいくと、その後の同じ領域の後続プロジェクトにおいて、その請負業者が継続的に好ましいベンダーと考えられる傾向がある。

例えば、中国港湾工程有限責任公司是初回時の成功により、港湾局のほぼ優先請負業者となっており、それゆえサウジアラビア各地の港湾開発のプロジェクトを連続して請け負っている。また米国ベクテルは産業都市および鉄道プロジェクトにおける優先的パートナーへの道を歩んでいる。

これまでにサウジアラビアにおいてプロジェクト実施経験のない外国請負業者は、自国における評価や競争上の地位を基に評価される。

世界の類似の市場環境でプロジェクトを実行した経験を有する外国請負業者は、サウジアラビアとは異なる市場および環境条件においてプロジェクト経験を有している請負業者よりも優先される。

ニッチな分野に重点を置く専門性の高い請負業者は、一般的な請負業者より優先される。道路整備、航空部門、鉄道などの分野では、多くのサウジアラビアの現地請負業者が地位を確立しているため、それら請負業者との競争を乗り越えて、プロジェクトを獲得することができるかも評価のポイントとなる。

単一の請負業者の入札よりも、プロジェクトに必要な専門知識をすべて有しているコンソーシアムが好まれる。

2018年に授与、または授与予定のプロジェクト

プロジェクト名

KA-Care - 代替エネルギープロジェクト - 原子力発電所
Jeddah Light Rail Transit Jeddah Metro Company;
KA-Care - 代替エネルギープロジェクト - フェーズ1
リヤド・アベニュー(都市開発)
ベツリ(Berri)油田
Dumat Al Jandaの400 MW風力発電
ラス・アル・ヘイル(Ras Al Khair)のアンモニア工場
南オブフルプロジェクト- 住宅団地開発 - BP-04 & PB-06
サカーカの300MWソーラー施設
キング・ファハド・コースウェイ・パスポート・アイランド(サウジ部門) -
フェーズ2

クライアント

アブドゥッラー国王・原子力・再生エネルギー機構(KA-Care)
サウジアラビア運輸省
アブドゥッラー国王・原子力・再生エネルギー機構(KA-Care)
Shomoulホールディングカンパニー
サウジ・アラムコ
再生可能エネルギープロジェクト開発事務所(REPDO)
サウジアラビア鉱業会社(Ma'aden)
アル・ライダ(Al Raidah)投資会社
エネルギー・産業・鉱物資源省
キング・ファハド・コースウェイ局

出典 : Ventures onsite

部門別PPPプロジェクトの機会

部門	過去・進行中のプロジェクトの例	将来的な機会
医療	Saudi Trans Sadara Companyと中国国際開発投資 有限 会社 (China International Development and Investment Corporation) による3億5,000万USドルの共同事業体。ダンマン、ジュベイル、リヤド、ジザーンに4つの病院を建設する。キングサワード大学とInterHealthCanadaはベッド数120床を有する建設費5億サウジリヤルの病院の開発に取り組む。	2030年までに、290の病院および2,300の保健センターの民営化を目指す医療民営化プログラム。
教育	サウジアラビアのTatweer Buildings Companyは、複数の企業に、ジェッダとメッカにある60の学校的设计、建設、資金調達、保守、移転の契約へ呼びかけを行った。	サウジアラビア国立学校のPPPプログラムにおいては、全国に300の学校を設置予定。
輸送	キング・ハマド・コーズウェイの開発(サウジアラビアとバーレーンの間の幹線道路/鉄道、PPP方式で完工する予定)が現在進行中である。サウジアラムコは2017年、東西回廊プログラムにおける労働者向けの住宅開発計画PPPプロジェクトを発表した。	サウジアラビアは近年、中国と韓国のコンソーシアムとともに、今後数年間に100万戸の低コスト家屋を1,000億ドルで開発する計画がある。
再生可能エネルギー	淡水化事業者であるサウジ海水淡水化公団(SWCC)は、韓国の斗山重工業とPPPモデルで開発される独立した淡水化プロジェクトのエンジニアリング、調達、建設のため、4億2,200万米ドルの契約を締結。	再生可能エネルギーは2023年までに300億米ドルから500億米ドルの投資が必要と見込まれている。

出典：Ashurst

参入方法について推奨事項

日本企業のタイプ	対象プロジェクトのタイプ	推奨されるエントリー方法
日本でグレードAの格付けを受け、インフラプロジェクトにおいて世界で豊富な経験を有する大手請負会社	単一のインフラ部門における単純なプロジェクト	サウジアラビアにLLC / PLCを設立 プロジェクトに直接入札する
	水、エネルギーなどさまざまなインフラ部門にまたがる複雑なプロジェクト	サウジアラビアにLLC / PLCを設立 個々のプロジェクト要件に応じて、適切な外国パートナーとのコンソーシアムを形成し、プロジェクトに入札する
日本で中程度の格付けを受け、インフラプロジェクトにおけるグローバルな経験が適度にある中規模の請負業者	単一のインフラ部門における単純なプロジェクト	サウジアラビアにLLC / PLCを設立 個々のプロジェクト要件に応じて、個々に入札するか、適切な外国企業または地元の請負業者と協力してコンソーシアムとして入札する
	水、エネルギーなどさまざまなインフラ部門にまたがる複雑なプロジェクト	有力な現地インフラ請負業者と提携してJV事業を設立する 個々のプロジェクト要件に応じて、JVまたは適切なコンソーシアムを通じて直接入札するプロジェクトの規模が非常に大きい場合は、入札者から下請負契約者としての仕事を取るのみが推奨される
日本で中程度の格付けを受け、インフラプロジェクトにおける世界的な経験はごくわずかである中小規模の請負業者	単一のインフラ部門における単純なプロジェクト	地元の請負業者とJVを設立する 個々のプロジェクトの要件に応じて、JVまたは、他の適切な現地パートナーとのコンソーシアムを通じて入札する
	水、エネルギーなどさまざまなインフラ部門にまたがる複雑なプロジェクト	JVを通じて下請け業者として仕事を取る。 プロジェクト全体に直接入札することは推奨できない

レポートをご覧いただいた後、アンケート(所要時間:約1分)にご協力ください。

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ora2/20180044>

本レポートに関するお問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
海外調査部中東アフリカ課

〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32
TEL：03-3582-5180
E-mail：ORH@jetro.go.jp